

令和8年度 第19回 スプリングチャレンジカップ競技運営について

岐阜県高体連バレーボール専門部

【試合運営について】

○大会参加申込時の選手登録について

- ・チームは大会参加申込時に最大18名の選手を登録することができる。
- ・申込時に登録したエントリーメンバーはその大会を通じて有効で、変更することはできない。
※エントリー変更がある場合は試合当日の朝、受付時に再提出可能。(学校長印ありの原本)

○試合当日の構成メンバーとユニフォームについて

- ・試合当日は申込時に登録した18名の選手から12名以内のノーマルプレーヤーと、2名以内のリベロプレーヤーを構成メンバーとして試合ごとに申告し、試合を行うことができる。ただし、構成メンバーが12名を超える場合、リベロプレーヤーは必ず2名でなければならない。
- ・ユニフォームは14番までの連番が望ましい。同一選手が別の番号を着用することは避ける。
- ・構成メンバー表は大会当日に配布し、試合ごとに選手14名以内をエントリーして提出する。エントリーは試合ごとに行い、選手14名については試合ごとに変更できる。
※会場に到着したチームは本部で受付をすませ、速やかに構成メンバー表を提出する。

○監督・コーチ等について

- ・監督は当該校の学校長が認めた者であれば、監督を務めることができる。
- ・コーチは当該校の学校長が認めた者であれば、コーチとしてベンチ入りすることができる。ただし生徒は認められない。
- ・マネージャーは当該校の職員か生徒（生徒の場合は必ず運動用服装を着装する）
- ・当該校の職員以外の者が監督コーチとなる場合は、年度ごとに専門部に所定の用紙で登録し、原則その年度内は変更することはできない。登録できるのは、監督またはコーチのどちらか一方に限る。
- ・ベンチスタッフのうち必ず1名以上は、引率責任を負える者を置く必要がある。（公立学校では非常勤講師、事務職員は引率責任者にならない）
- ・ベンチスタッフを教職員（マネージャーは生徒を含む）で構成する場合については、「同じ学園内の異なる高等学校」「同じ高校内の全日制、定時制」間を兼務している場合は、学校長が同一であれば当該校の職員と認める。

○ネットの高さについて

- ・男子2m43cm、女子2m24cmとする。

○大会使用球について

- ・男子ミカサ(V300W)、女子モルテン(V5M5000)のカラーボール（人工皮革）を使用する。

○プロトコールについて

- ・トスは記録席で行い、ファーストレフェリー（主審）の合図で公式練習（各3分または合同6分）を開始する。
- ・公式練習終了後、14名がエンドライン上に整列後、レフェリーの吹笛、指示によりネット付近で両チームメンバーが握手の後ベンチに戻る。
- ・スターティングプレーヤーはコート内に入りラインアップを確認後、試合を開始する。
- ・公式練習についてはすべての試合で行う。
- ・各試合の前に20分間の合同練習タイムをとる。（前の試合が終わったら自動的に次の試合の合同練習タイムに入る）
- ・試合が連続する場合も20分間の合同練習を行い、その後試合開始とする。
ただし、第3試合終了後のみ40分後にプロトコールとする。 ※昼食休憩の時間確保のため
- ・上記の内容を目安とし、状況に応じて会場競技委員を中心に検討し対応する。

○日程について

- ・ 9 : 0 0 開場
- ・ 9 : 0 0 ~ 9 : 2 0 第 1 試合のチーム練習
- ・ 9 : 2 0 代表者会議
- ・ 9 : 3 5 第 1 試合開始
- ・ 第 1 試合以降は原則、前試合終了後、20分後に次試合プロトコールとする。
ただし、第 3 試合終了後のみ 40 分後にプロトコールとする。 ※昼食休憩の時間確保のため
また、試合の結果によって進行が遅くなる場合は、会場競技委員を中心に検討し対応する。

【審判について】

○競技規則について

- ・ 本大会は、2026年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項で行う。
- ・ 選手交代は、ナンバー・パドルおよびブザーを使用しない。
- ・ 本大会は、ワンボールシステムで行う。
- ・ 監督はベンチから離れて指示をすることができる。

○ワイピングについて

- ・ 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。状況により、レフェリーの指示でラリー終了後、交代選手(3名以内)が速やかにコートに入ってのワイピングを認める。
- ・ タイムアウト時及びセット間のワイピングは、各チームで行う。

○服装について

(競技に出場する選手)

- ・ ユニフォームのチーム表示は、学校名またはその略字とする。特に校章・代表地区名を加えることができる。個人名の表示は禁止する。番号の高さは胸番号15cm以上、背番号20cm以上とする。
- ・ リベロプレーヤーは、チームの他の競技者とははっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともゲームシャツだけは)を着用しなければならない。(左右対称や上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインであること)リベロが2名の場合、リベロはチームの他の競技者と異なる色で、さらにはお互いに異なる色のユニフォームを着用することができる。
- ・ ソックスはユニフォームの一部であるため、メーカー、色、ポイント、形状等を含め統一すること。(くるぶしが隠れるものであること)
- ・ アンダーシャツ・パワーパンツについては、ユニフォームからはみださないこと。
- ・ 競技中、相手チームに悪い影響を与えるような形状・色彩は避けること。
- ・ 競技に関し、危険・支障があると思われる装飾品等の着用は避けること。
- ・ ユニフォームはシャツの裾をパンツの中に入れてプレーをすること。

(ベンチスタッフ)

- ・ ベンチスタッフは、統一されたウェアとする。ただし統一されていない場合には、いずれかがジャケットを着用する。生徒がマネージャーの場合は、運動のできる服装であればよい。
- ・ 所定のマーク〔監督(監)、コーチ(C)、マネージャー(M)章〕は、明確に判別できる位置につけること。(左胸部が望ましい)
- ・ 規定に則さないと大会役員が判断した場合、チームまたは選手に注意を促すこととし、監督、コーチについてはベンチ入りが認められない。

○トレーナーについて

- ・ 当該チームの試合中に限り、チームトレーナーがフロア面(コントロールエリア外)に降りることができるが、コントロールエリア内、ウォームアップゾーンにいる選手に施術することはできない。また、チームへの戦術通達や応援もすることができない。
- ・ 年度ごとに専門部に所定の用紙で登録し、原則その年度内は変更することはできない。(変更する場合は改めて申請する)また、申請には、チームの学校長の承認を必要とする。
(PDFによる登録も可とする)
- ・ チームトレーナーはビブスを着用すること。ビブスは各チームで準備すること。

○公式練習について

- ・相手チームは当該チームの迷惑にならないようにする。自チームベンチ前、または相手側コート後方で行う
- ・公式練習時は、ベンチスタッフ及び14名の選手の者しか競技場内にいることができない。

○コートアシスタントについて

- ・第1試合の記録、線審、得点は試合の組み合わせ表で指定されたチームが行う。第2試合以降は前試合の敗者チームで行う。

【開始式・閉会式について】

- ・開始式、閉会式は実施しない。

【会場駐車制限について】

参加校1チームあたり、下記の台数まで駐車可能

男子	岐阜工	・・・	5台	女子	岐阜各務野	・・・	5台
	郡上	・・・	5台		岐阜第一	・・・	5台
	大垣工	・・・	6台		大垣南	・・・	制限なし
	益田清風	・・・	5台		大垣西	・・・	5台
	多治見北	・・・	5台		池田	・・・	5台
					各務原	・・・	5台
					飛騨高山	・・・	7台

部員数が30名以上の所属があり、上記の台数が困難な場合は事前に会場校までお問い合わせください。

***制限なしの会場についても駐車スペースに限りがありますので、できるだけ乗り合わせてご来場下さい
上記の内容は各チームで保護者等関係者へ必ず連絡し徹底すること。**

【その他】

○会場使用上の注意について

- ・貴重品は各チームで保管すること。
- ・上下足の区別については厳守すること。
- ・競技に関係のある場所以外への出入りを禁止する。
- ・清掃はチームで徹底し、応援席など会場内のゴミはすべて持ち帰ること。
- ・部旗、横断幕等の位置、場所については、競技に支障をきたさないように配慮し、競技中のチームを優先して掲げるものとする。
- ・競技関係者以外の応援は、2階のギャラリーを利用し、本部席、競技場1階フロアへは立ち入らないこと。
- ・観戦者は会場から示された観戦マナーを徹底する。極端に早い時間に駐車場に並んだり、シート等を敷いての場所取りはご遠慮ください。
- ・**感染症予防は各自対策してください。**
- ・観戦する際に発声を伴う応援や手拍子、メガホン、ペットボトルマラカスの使用についても認める。
- ・**太鼓、拡声器、のぼりの使用は禁止とする。**